

報告事項（3）

資料3

令和2年度の市内公共交通利用者数について

1. 黒部市内公共交通の概要

- ・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じた路線バス、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されています。
- ・市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行しています。
- ・平成27年度以降、黒部市地域公共交通網形成計画に基づいて路線バス、デマンドタクシーの新設及び見直しや社会実験が行われ、平成30年度は、10月から南北循環線の一部を減便しました。
- ・令和元年12月25日には、明峰中学校開校（令和2年4月）に向けた通学環境改善のため、移設新築された富山地方鉄道荻生駅の利用が開始されました。
- ・そのほか、令和元年度で一部の路線バス、コミュニティタクシーについて、ルートや運行形態の見直しを行い、令和2年度の運行に反映しました。

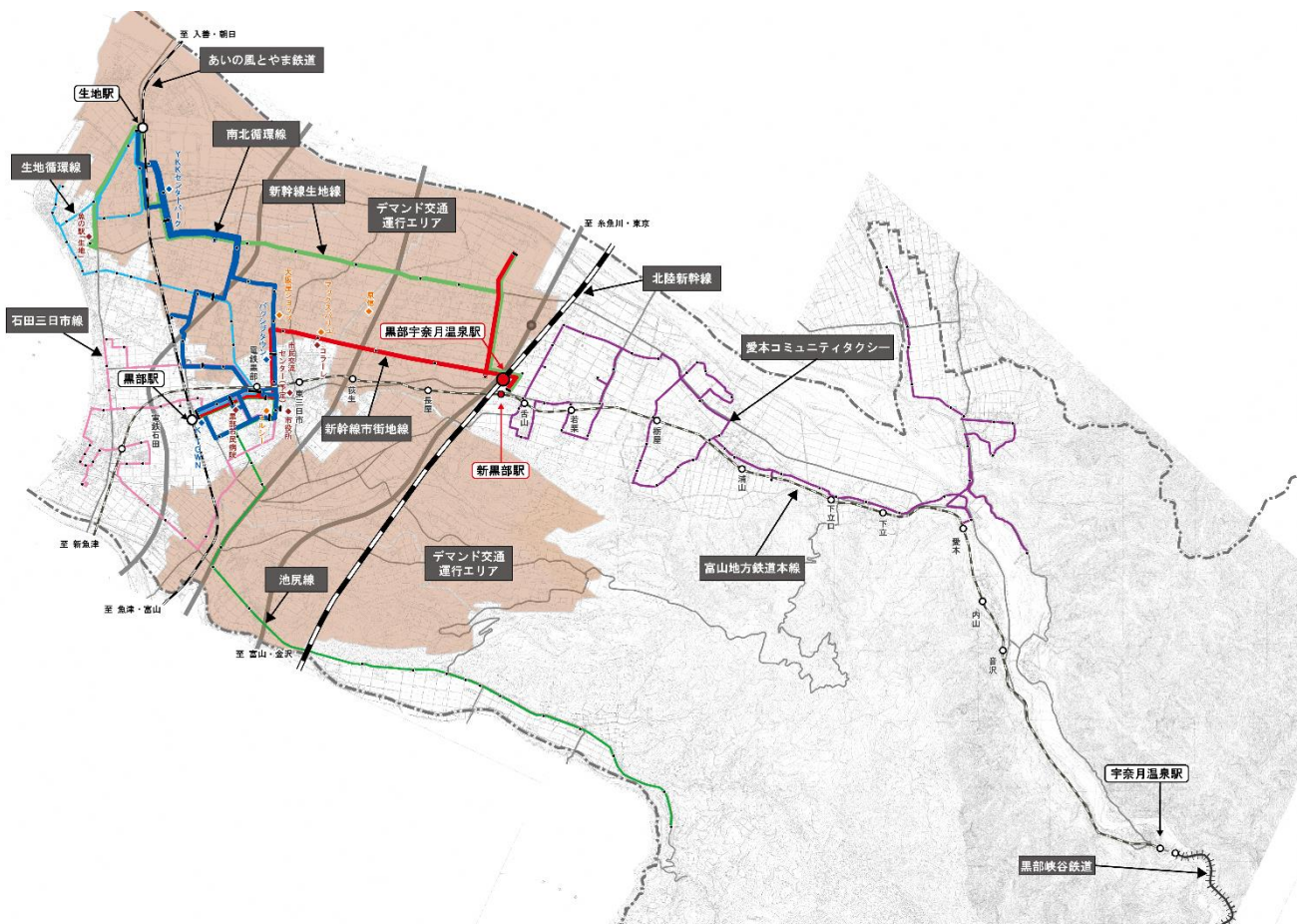


図 黒部市の公共交通網(令和3年3月末時点)

2. 黒部市内公共交通の利用状況

(1)【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行いました。

実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査

実施時間：6時～22時台（終電到着後一定時間まで）

- ・新型コロナウイルスの影響により、各調査日ともに昨年同時期の乗降人数を大きく下回る結果となりました。
- ・観光シーズンの11月は昨年度比の6割の水準となるものの、総じて昨年度比の3割以下の水準となりました。
- ・調査日の中でも、帰省シーズンの8月10日は昨年度比が最も低く、2割を下回る水準となっています。

調査日	令和2年度							R1 同期 乗降人数	乗降人数 対 R1 割合 (R2/R1)	H30 同期 乗降人数	乗降人数 対 H30 割合 (R2/H30)	備考 昨年度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジ ネス	降車 人数 (b)	うち ビジ ネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジ ネス	ビジ ネス 割合					
実施なし (5月上旬) (祝)	— 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。 —							3,400	—	3,259	—	令和元年 5月2日 (木・祝)
令和2年 6月18日 (木)	242	98	233	111	475	209	44.0%	1,603	29.6%	1,510	31.5%	令和元年 6月20日 (木)
令和2年 6月21日 (日)	287	38	237	28	524	66	12.6%	1,945	26.9%	1,820	28.8%	令和元年 6月23日 (日)
令和2年 8月10日 (月・祝)	277	7	314	5	591	12	2.0%	3,031	19.5%	3,177	18.6%	令和元年 8月9日 (金)
令和2年 11月1日 (日)	865	18	849	19	1,714	37	2.2%	2,623	65.3%	2,876	59.6%	令和元年 11月3日 (日)
令和2年 11月12日 (木)	629	187	633	226	1,262	413	32.7%	2,060	61.3%	2,015	62.6%	令和元年 11月14日 (木)
令和3年 2月4日 (木)	180	75	175	74	355	149	42.0%	1,413	25.1%	1,423	24.9%	令和2年 2月6日 (木)
令和3年 2月14日 (日)	260	29	258	38	518	67	12.9%	1,561	33.2%	1,990	26.0%	令和2年 2月9日 (日)

(2)【鉄道】あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道市内駅の一日平均乗降客数は、長期的には減少傾向にありましたが、平成27年3月の同鉄道開業以降は増加傾向に転じていました。しかし、令和元年度の乗降客数は新型コロナウイルスの影響もあり、再び減少に転じており、令和2年度の乗降客数についても前年度と比較して大きく減少しています。
- ・駅ごとに乗降客数を見ても、黒部駅、生地駅ともに令和2年度は前年度と比較して大きく減少しています。

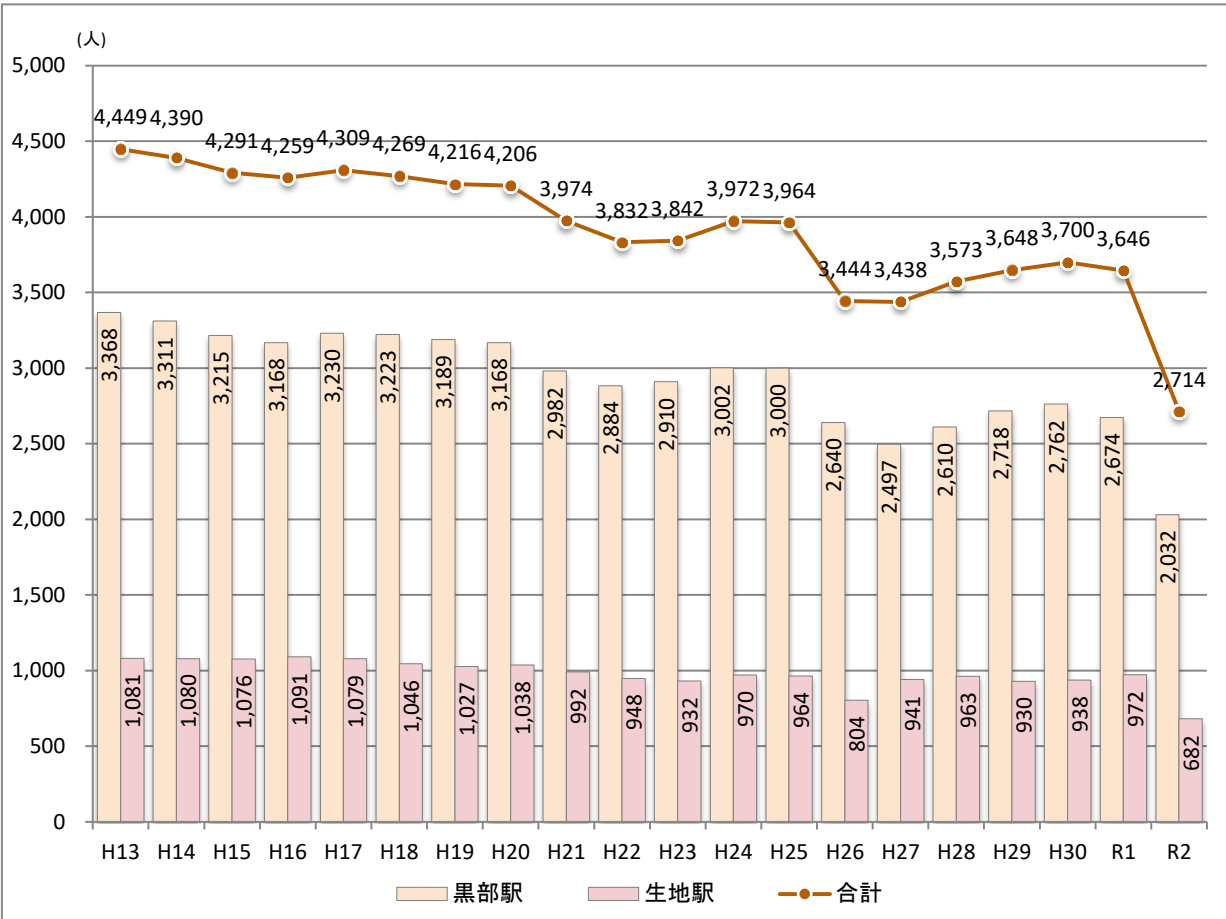


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の1日あたり乗降客数の推移

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
黒部駅	99.7%	98.3%	97.1%	98.5%	102.0%	99.8%	98.9%	99.3%	94.1%	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%	101.6%	96.8%	76.0%
生地駅	101.0%	99.9%	99.7%	101.4%	98.9%	96.9%	98.2%	101.1%	95.6%	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%	100.9%	103.6%	70.2%
合計	100.1%	98.7%	97.7%	99.3%	101.2%	99.1%	98.8%	99.8%	94.5%	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%	101.4%	98.5%	74.4%

表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の1日あたり乗降客数前年比

(出典:平成26年は平成27年3月13日まではJR西日本、平成27年3月14日以降はあいの風とやま鉄道)

※緑色は前年度比で増加を示しています。

(3)【鉄道】富山地方鉄道本線の利用状況

- ・富山地方鉄道本線の日平均乗降客数は、平成22年まで減少していましたが、平成23年から増加に転じ、北陸新幹線が開業した平成27年は大幅に増加しています。平成28年以降は概ね横ばい傾向が続いていましたが、令和元年度の乗降客数は新型コロナウイルスの影響もあり、減少に転じており、令和2年度の乗降客数についても前年度と比較して大きく減少しています。
- ・駅ごとの乗降客数では、北陸新幹線開業後、宇奈月温泉駅では大きく増加し、その後は概ね横ばい傾向が続いていました。しかし、令和元年は全ての駅で乗降客数が減少に転じており、令和2年度についても前年度と比較して大きく減少しています。特に新黒部駅と宇奈月温泉駅の減少が顕著となっています。

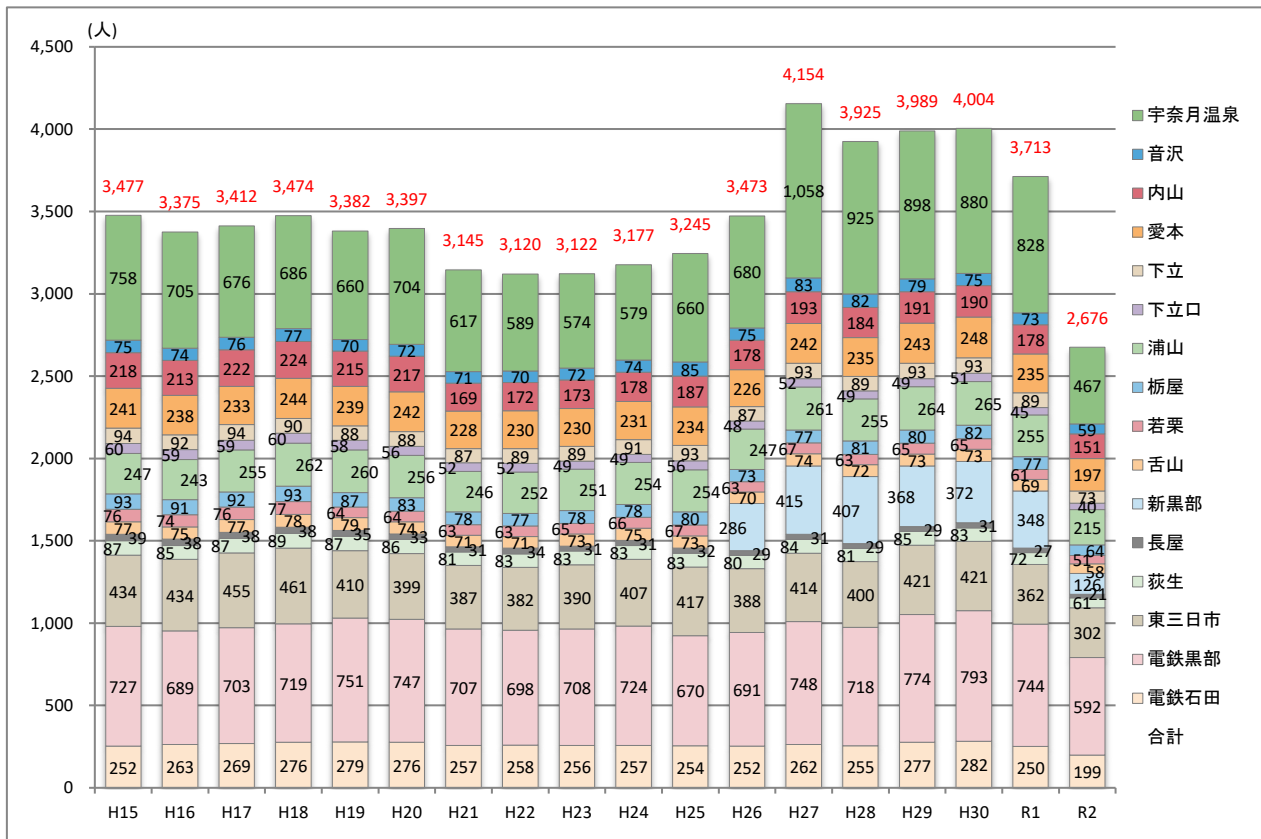


図 富山地方鉄道本線市内駅 1日あたり乗降客数推移 (出典：富山地方鉄道株式会社)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
電鉄石田	93.0%	104.3%	102.5%	102.5%	101.1%	98.9%	93.1%	100.4%	99.2%	100.4%	98.2%	99.2%	104.0%	97.3%	108.6%	101.8%	88.7%	79.6%
電鉄黒部	90.4%	94.8%	102.0%	102.3%	104.5%	99.5%	94.6%	98.7%	101.4%	102.3%	92.5%	103.1%	108.2%	96.0%	107.8%	102.5%	93.8%	79.6%
東三日市	97.7%	100.1%	104.7%	101.3%	88.9%	97.3%	97.0%	98.7%	102.1%	104.4%	102.5%	93.0%	106.7%	96.6%	105.3%	100.0%	86.0%	83.4%
荻生	95.8%	97.1%	102.5%	102.5%	97.8%	98.9%	94.2%	102.5%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	105.0%	96.4%	104.9%	97.6%	86.7%	84.7%
長屋	95.7%	96.9%	99.6%	100.4%	92.1%	94.3%	93.9%	109.7%	91.2%	100.0%	103.2%	90.6%	106.9%	93.5%	100.0%	106.9%	87.1%	77.8%
新黒部													145.1%	98.1%	90.4%	101.1%	93.5%	36.2%
舌山	95.7%	98.2%	102.1%	101.7%	101.3%	93.7%	95.9%	100.0%	102.8%	102.7%	97.3%	95.9%	105.7%	97.3%	101.4%	100.0%	94.5%	84.1%
若栗	95.8%	98.0%	102.1%	101.6%	83.1%	100.0%	98.4%	100.0%	103.2%	101.5%	101.5%	94.0%	106.3%	94.0%	103.2%	100.0%	93.8%	83.6%
栃屋	93.8%	98.5%	100.9%	100.8%	93.5%	95.4%	94.0%	98.7%	101.3%	100.0%	102.6%	91.3%	105.5%	105.2%	98.8%	102.5%	93.9%	83.1%
浦山	92.9%	98.6%	104.7%	102.7%	99.2%	98.5%	96.1%	102.4%	99.6%	101.2%	100.0%	97.2%	105.7%	97.7%	103.5%	100.4%	96.2%	84.3%
下立口	98.3%	98.9%	100.1%	101.0%	96.7%	96.6%	92.9%	100.0%	94.2%	100.0%	114.3%	85.7%	108.3%	94.2%	100.0%	104.1%	88.2%	88.9%
下立	93.6%	97.8%	102.9%	95.5%	97.8%	100.0%	98.9%	102.3%	100.0%	102.2%	102.2%	93.5%	106.9%	95.7%	104.5%	100.0%	95.7%	82.0%
愛本	93.7%	98.9%	97.9%	104.7%	98.0%	101.3%	94.2%	100.9%	100.0%	102.4%	101.3%	96.6%	107.1%	97.1%	103.4%	102.1%	94.8%	83.8%
内山	94.6%	98.1%	103.9%	101.0%	96.0%	100.9%	77.9%	101.8%	100.6%	102.9%	105.1%	95.2%	108.4%	95.3%	103.8%	99.5%	93.7%	84.8%
音沢	97.7%	97.7%	103.9%	100.7%	90.9%	102.9%	98.6%	98.6%	102.9%	102.8%	114.9%	88.2%	110.7%	98.8%	96.3%	94.9%	97.3%	80.8%
宇奈月温泉	102.3%	93.0%	95.8%	101.5%	96.2%	106.7%	87.6%	95.5%	97.5%	100.9%	114.0%	103.0%	155.6%	87.4%	97.1%	98.0%	94.1%	56.4%
合計	95.5%	97.1%	101.1%	101.8%	97.4%	100.4%	92.6%	99.2%	100.1%	101.8%	102.1%	107.0%	119.6%	94.5%	101.6%	100.4%	92.7%	72.1%

表 富山地方鉄道黒部市内鉄道駅の1日あたり乗降客数前年比 (出典：富山地方鉄道株式会社)

※緑色は前年対比で増加を示しています。

(4)【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・YKK荻生製造所まで延伸した平成29年7月以降において、利用者数は概ね増加傾向にあり、延伸効果がみられました。
- ・一方で、黒部駅から黒部宇奈月温泉駅へのアクセス交通という当初の目的が浸透せず、利用者数は伸び悩んでいます。
- ・令和2年度の利用者数は、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度を大きく下回っています。
- ・令和2年度の月ごとの利用者数は、概ね前年度を下回っています。

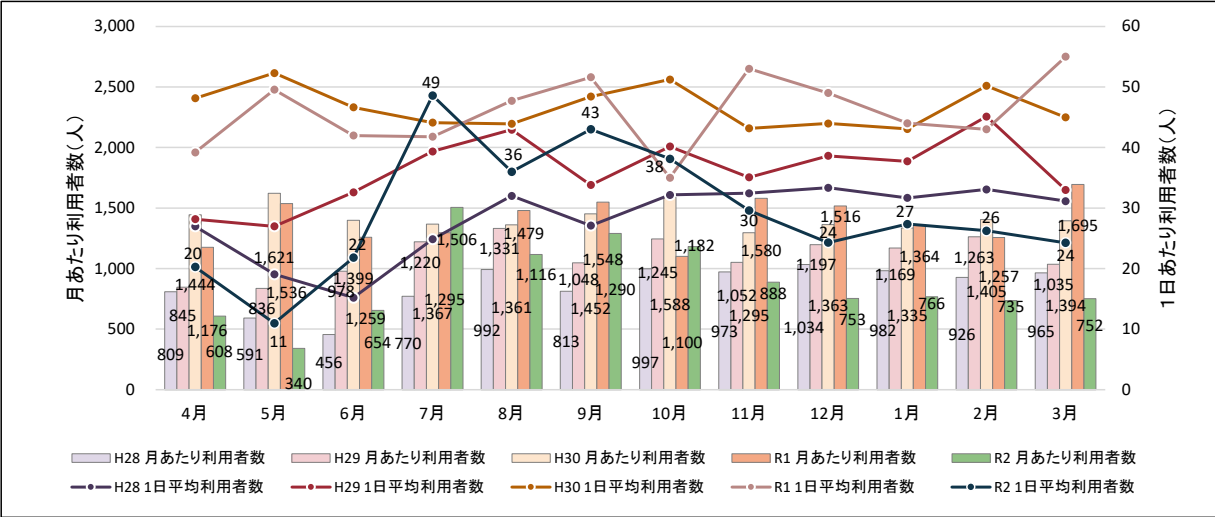


図 新幹線市街地線 月別利用者数の推移

表 新幹線市街地線 年度別利用者数の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数	10,308	13,219	17,024	16,805	10,590
前年対比	80.5%	128.2%	128.8%	98.7%	63.0%

(5)【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・系統を増やした平成29年6月以降は、利用者数が大幅に増加しており、平日1日平均100人を超える利用で推移していました。
- ・令和2年度の利用者数は、新型コロナウイルスの影響もあり、前年を大きく下回っています。
- ・平日に比べ休日の利用者は極端に少ないことから、利用者のほとんどは通勤またはビジネス目的であると考えられます。

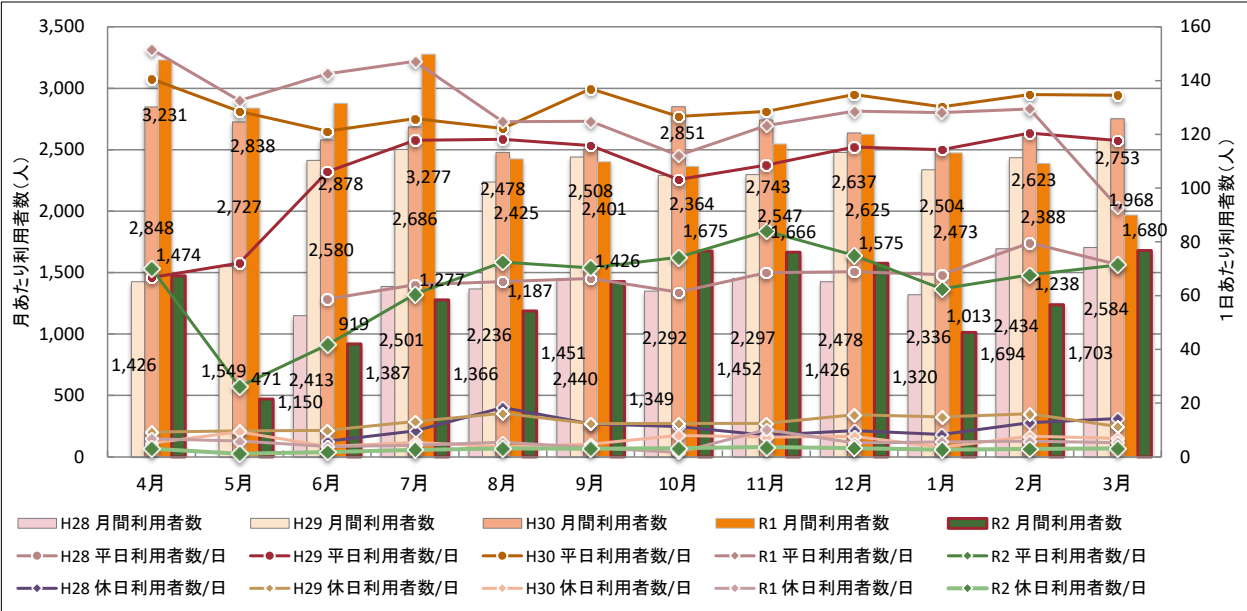


図 新幹線生地線 月別利用者数の推移

表 新幹線生地線 年度別利用者数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	14,298	26,986	31,938	31,415	15,601
前年対比	—	188.7%	118.4%	98.4%	49.7%

(6)【路線バス】 生地循環線の利用状況

- ・ 生地循環線の年間利用者数は、平成27年度以降は概ね減少傾向が続いています。
- ・ 令和元年度は平成30年度を上回りましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、前年度を大きく下回る結果となりました。
- ・ 令和2年度1日あたり平均利用者数は前年度を下回りましたが、平成22年黒部市OD調査より求めた基準値（39人/日）を上回る結果となりました。

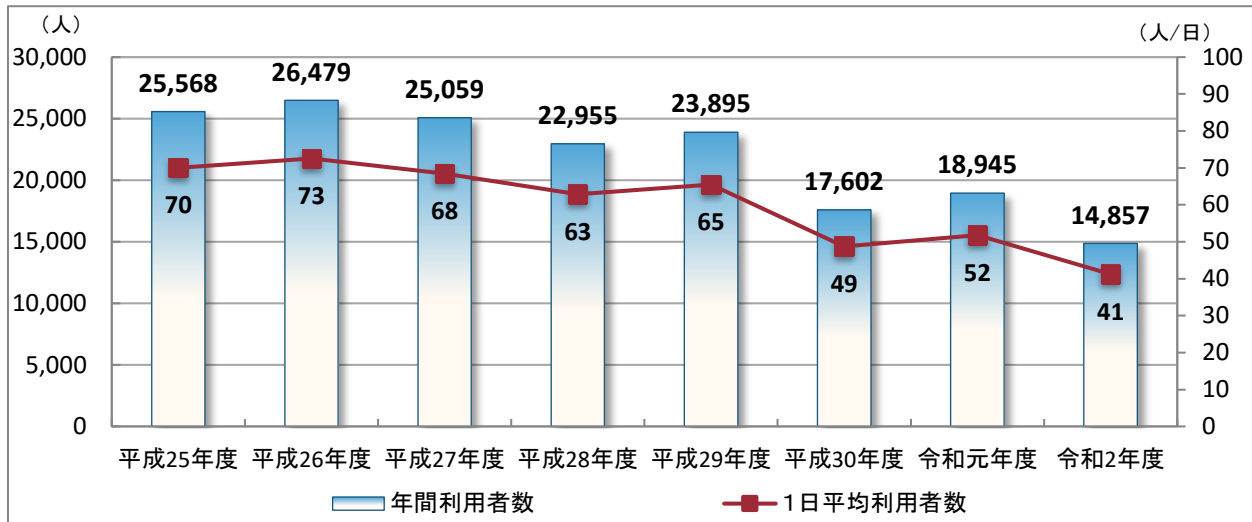


図 生地循環線 利用者数推移

(7)【路線バス】石田三日市線の利用状況

- ・令和2年度の年間利用者数は、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度と比較して著しく減少しており、すべての月で前年度を下回っています。
- ・1日あたりの利用者数は、特に4月、5月、1月で著しく落ち込んでいます。

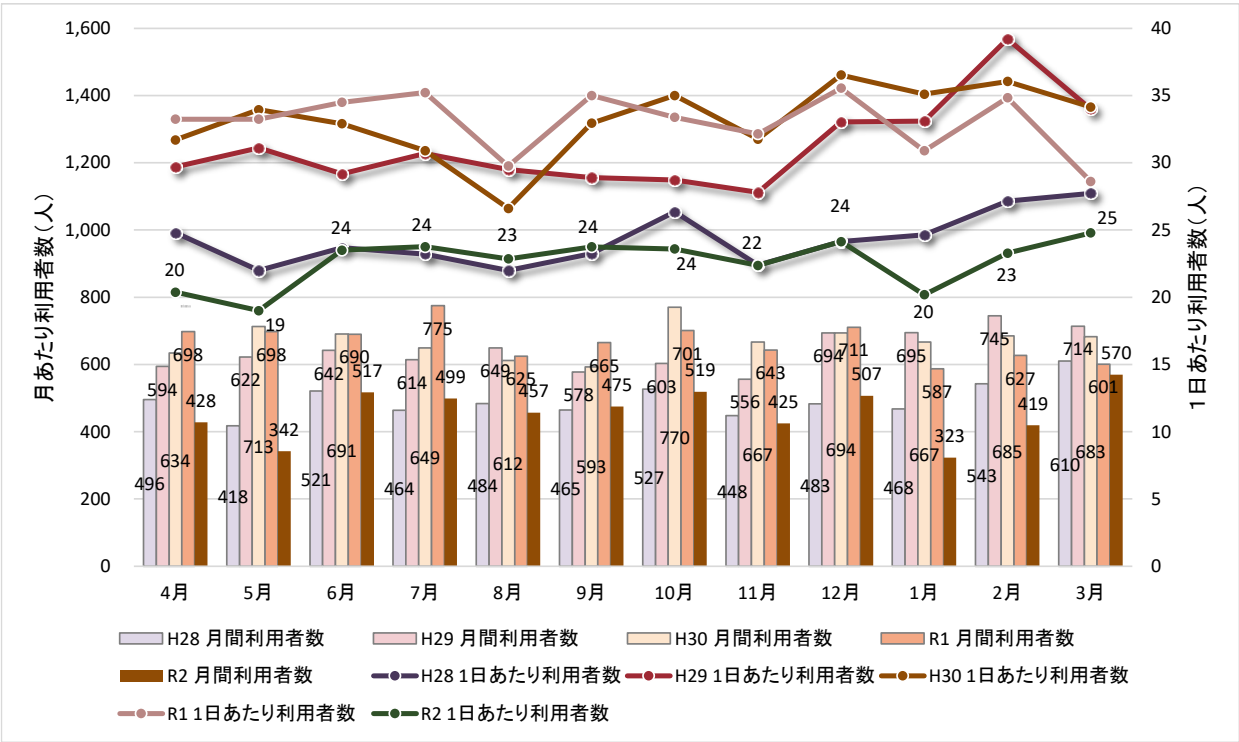


図 石田三日市線 月別利用者数の推移

表 石田三日市線 年度別利用者数の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数	5, 927	7, 706	8, 058	8, 021	5, 481
前年対比	218. 9%	130. 0%	104. 6%	99. 5%	68. 3%

(8)【路線バス】池尻線の利用状況

- ・平成25年度以降は年間利用者数が増加傾向にあります。特に、平成30年度からは平日のみの運行となったものの、令和元年度までの年間利用者数は増加傾向にありました。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、年間利用者数は前年度を下回っています。
- ・令和2年度の1日平均利用者数については、前年度を下回っているものの、当初計画時の利用者数基準値（14.9人/日）を上回っています。

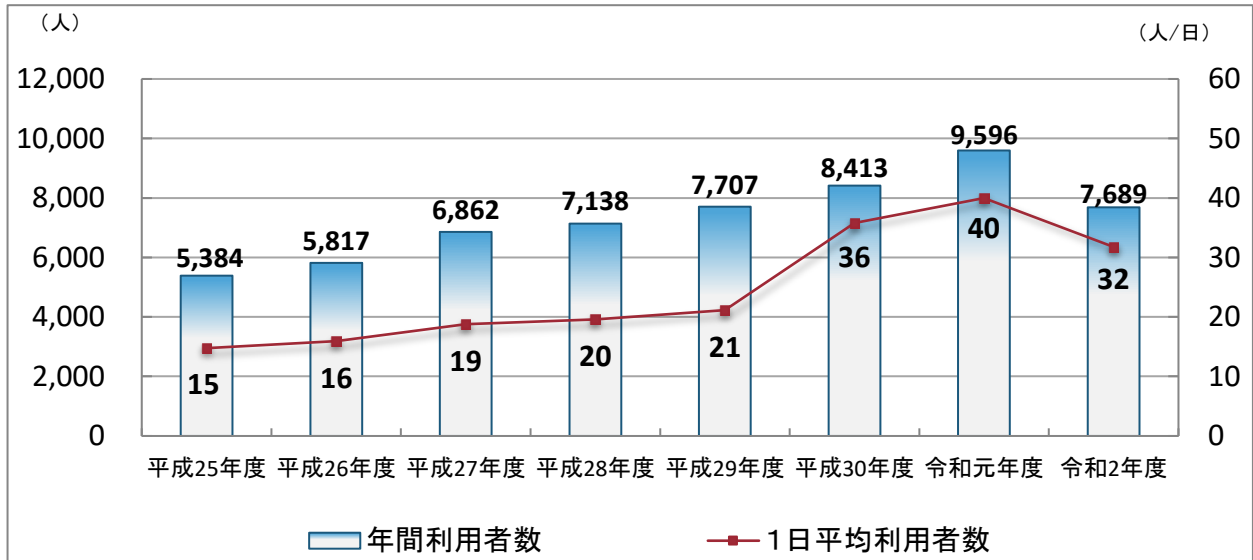


図 池尻線 利用者数推移

(9)【路線バス】南北循環線の利用状況

- ・平成29年10月から本格運行としており、一般利用も含め、令和2年度においては1日あたり230人程度の利用がありましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度と比較して利用者は著しく減少しています。
- ・当初目標としていた440人/日（YKK社員420人/日、一般20人/日）に対して5割強の水準となっています。

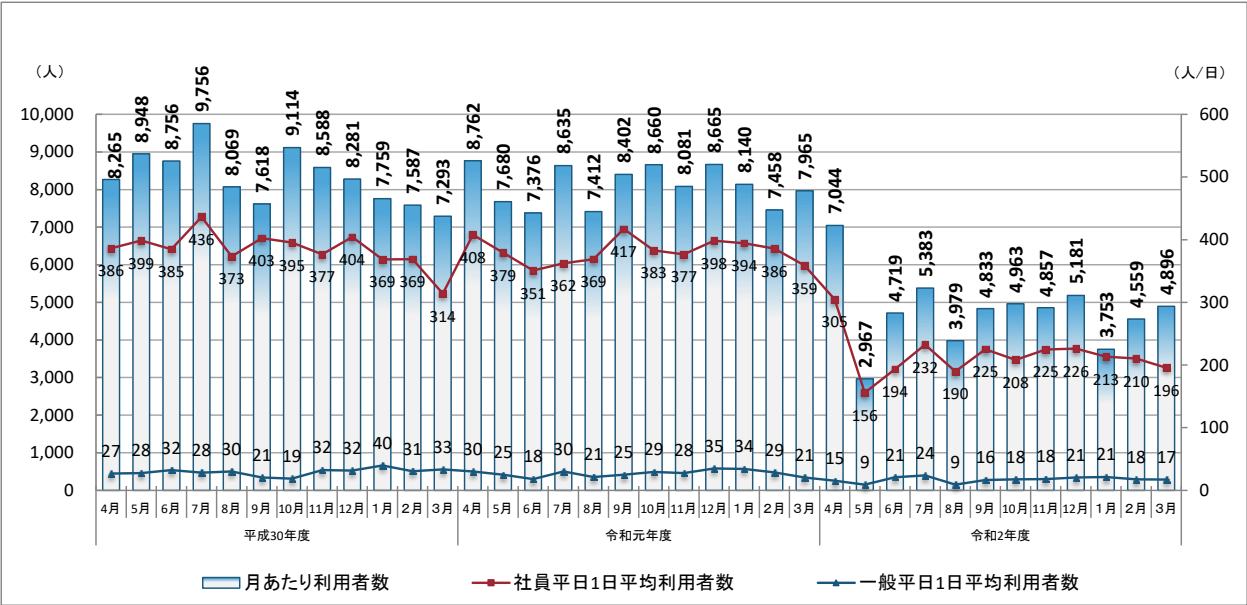


図 南北循環線 利用者数推移

表 南北循環線 年度別利用者数推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	100,034	97,236	57,134
前年対比	118.2%	97.2%	58.8%

(10)【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- 令和2年度の利用者数は、前年度と比較して減少していますが、鉄道や路線バスに比べ減少幅が小さく、新型コロナウイルスの影響を大きく受けていないものと推察されます。
- 令和2年度の月別の利用者数は全体的に350人前後で推移していますが、1月、2月での落ち込みが著しくなっています。
- また路線ごとに見ると、愛本連絡線（旧愛本フィーダー線）の利用者数が他の路線に比べ著しく少なくなっています。

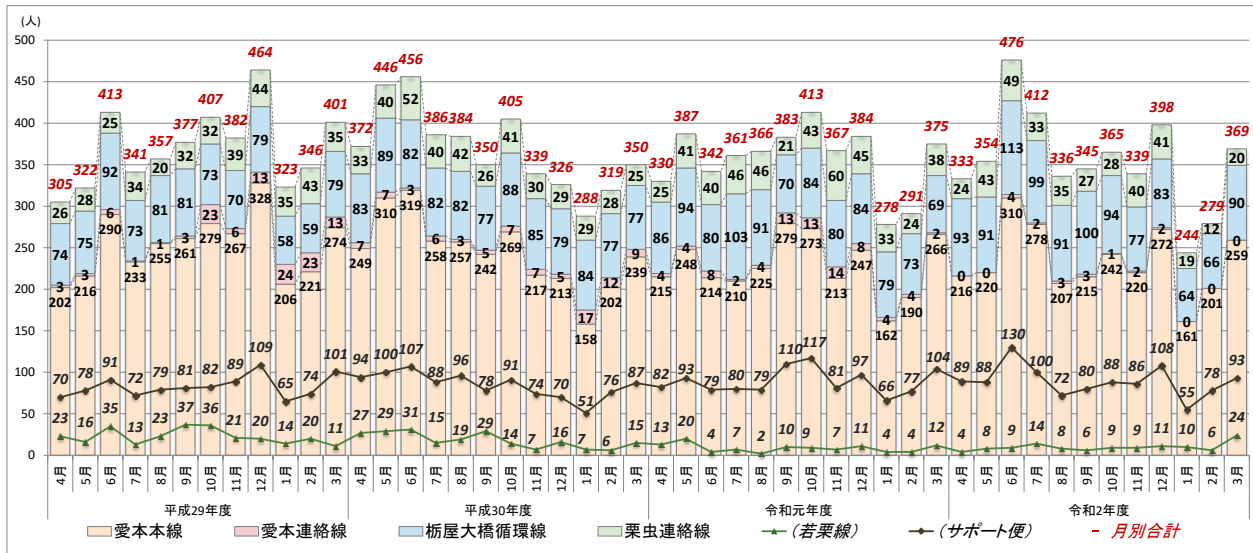


図 愛本コミュニティタクシー 利用者数推移

表 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数	4,438	4,421	4,277	4,250
前年対比	111.7%	99.6%	96.7%	99.4%

(11)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(田家・前沢地区)の利用状況

- ・平成27年度以降、年間利用者数(全体)は増加傾向にあります。
- ・地区別の利用者数を見ると、平成28年度以降、前沢地区は大きく増加していますが、田家地区は減少傾向にあります。
- ・なお、令和元年度で初めて前沢地区の利用者数が田家地区の利用者数を上回っています。

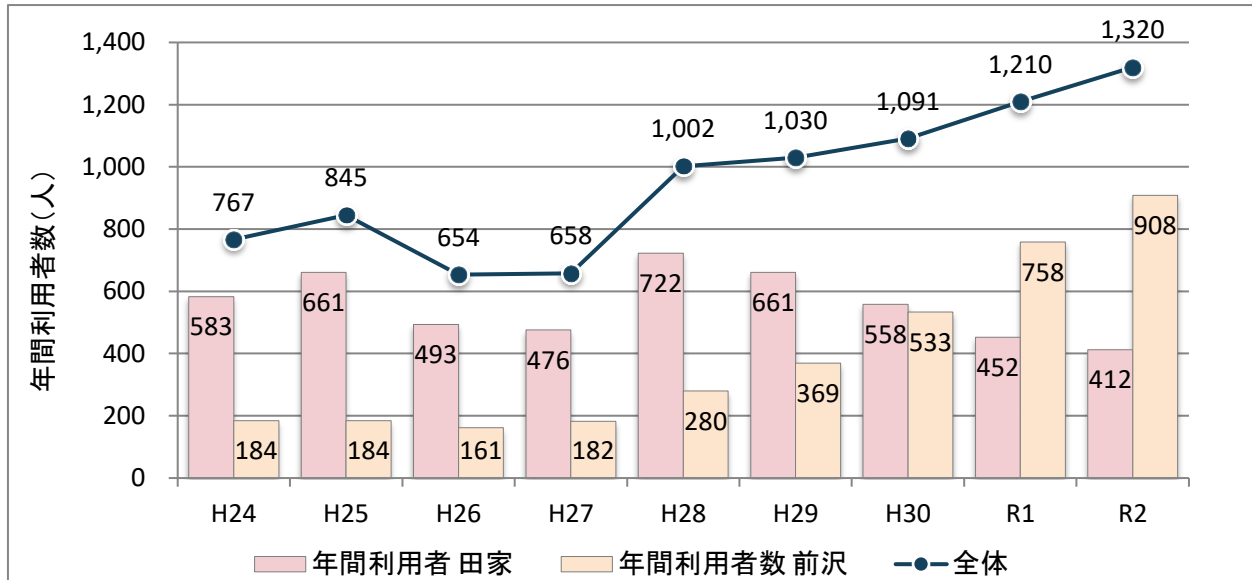


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 年間利用者数推移

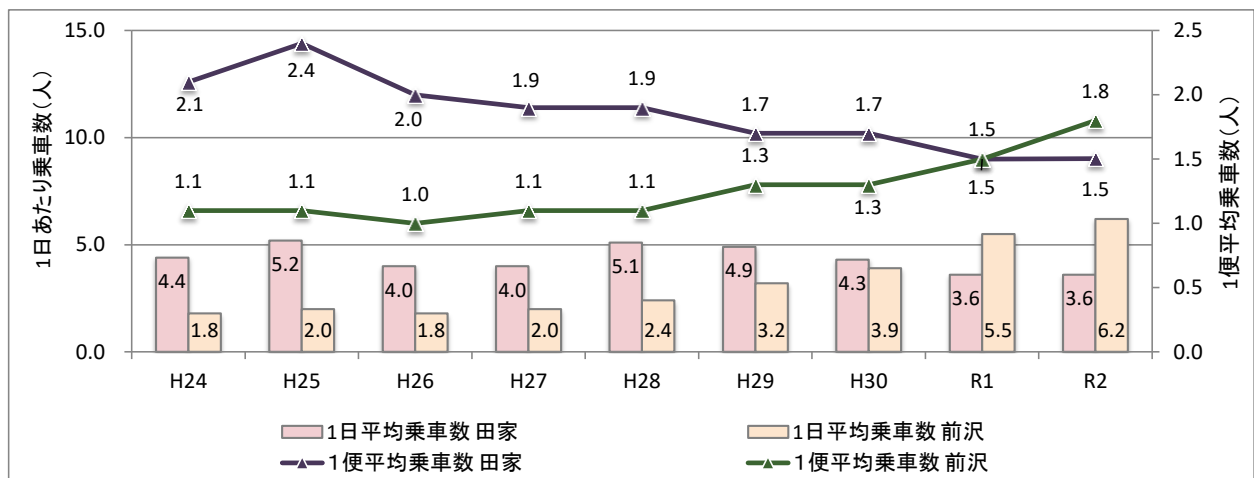


図 デマンドタクシー(田家・前沢地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移

(12)【コミュニティ交通】デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区)の概要と利用状況

- ・平成27年11月の運行開始以降、年間利用者数(全体)は、平成28年度から平成30年度まではほぼ横ばいで推移しましたが、令和元年度で大きく増加しました。しかし、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、年間利用者数(全体)は前年度を下回っています。
- ・また、地区別の利用者数を見ると、村椿・大布施地区、荻生地区ともに令和2年度は前年度と比較して減少しており、特に村椿・大布施地区の減少が著しくなっています。

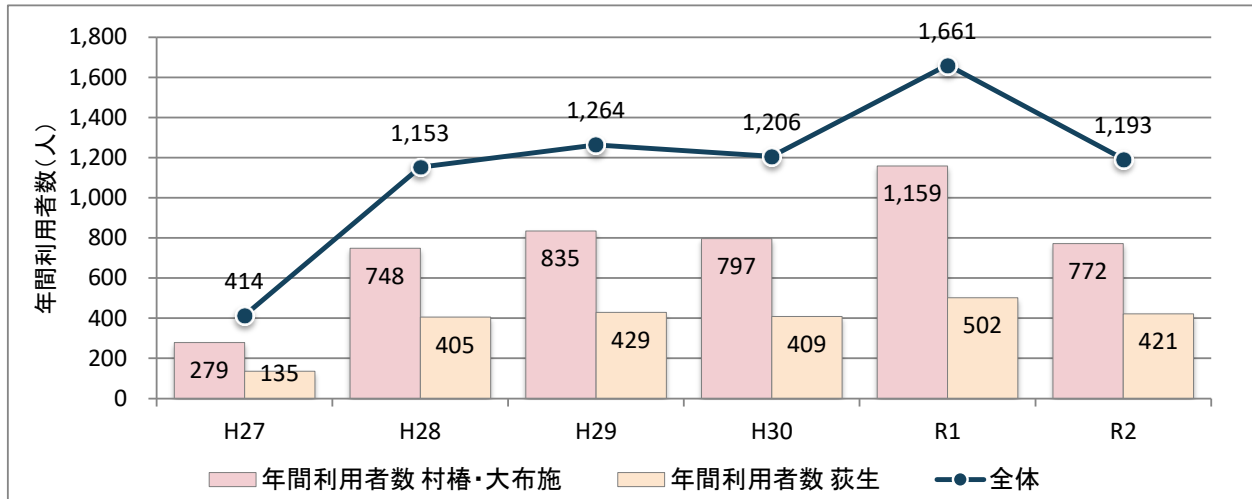


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区) 年間利用者数推移

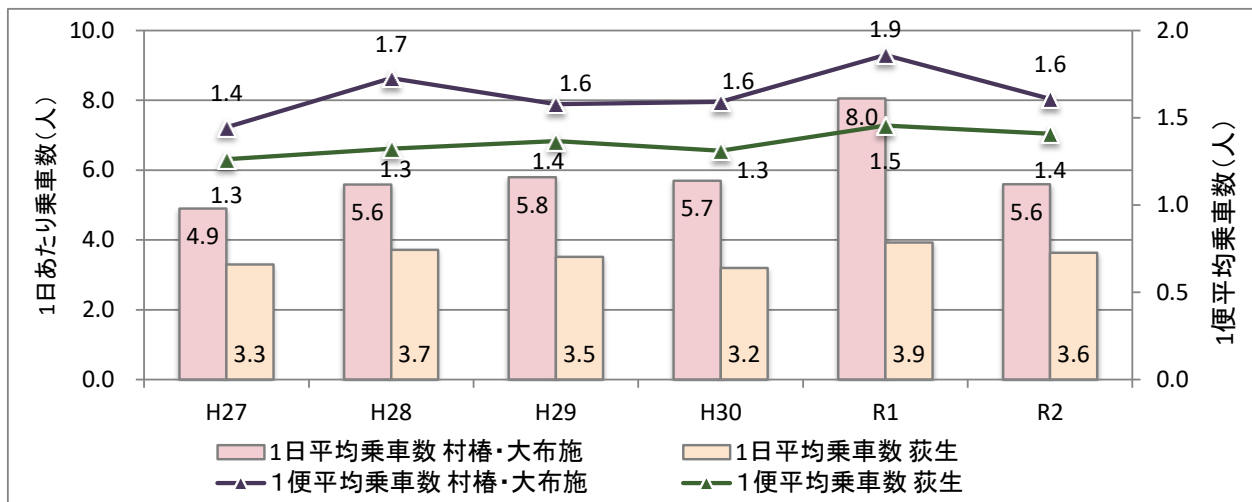


図 デマンドタクシー(村椿・大布施・荻生地区) 1日平均及び1便平均利用者数推移